

2022年発泡スチロール協会会長 新年ごあいさつ

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2022年の年頭にあたり、発泡スチロール協会（JEPSA）の活動に対し旧年中に賜りました皆様のご支援とご愛顧に厚くお礼申し上げます。

JEPSAは活動ビジョンを「発泡スチロールの優れた特性で地球環境を守ります。」としております。「持続可能な社会」の実現に向けて発泡スチロールの特性を生かした製品のご提案と普及、また、高いリサイクル率を更に高めることにより発泡スチロールの「資源としての有効利用率の向上」を目指しております。

さて、昨年は新型コロナウイルスに振り回され、更にウッドショック、半導体不足、石油の値上がりなど想定できないことが頻発した1年でした。このような状況で、当協会は、発泡スチロールのリサイクルを目的として設立された「発泡スチロール再資源化協会」発足から30周年を迎えた記念すべき年でもありました。

設立当時、1991年のリサイクル率は12.6%でした。その後、リサイクル率にサーマルリサイクル率を加え、2020年は90.8%となりました。2020年からはリサイクル率を有効利用率に呼称変更し、使用済みEPSの有効利用率100%とすることを目標に掲げました。

発泡スチロール協会の目的は、発泡スチロールは少ない資源を有効に活用していること、省エネに貢献する商品であること、リサイクルに代表される有効利用率が非常に高いことから脱炭素社会と循環型社会に大きく貢献することを世界に広め、発泡スチロールの採用を拡大することにあります。

「発泡スチロールの優れた特性で地球環境を守ります。」というビジョンに基づき、最近では容器包装資材だけでなく、断熱性、耐久性、軽量性を活かした土木・建築資材、家電部材に加え、住宅設備部品、自動車部品、ワクチン輸送容器等の物流資材、クッション芯材等の生活資材など長期間の使用用途向けの商品の比率が高まっており、徐々にではありますが、新しい用途が拡大してきています。

世界的な循環経済への転換の動きもあり、日本でも「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が昨年成立し、本年4月には施行されることとなります。当協会は自信を持って発泡スチロールは地球環境を守る非常に優れた素材であると言えます。発泡スチロールは性能を発揮し使用され、役割終了後も全国に整備されたリサイクル体制により、資源としての有効利用率を90%以上まで向上させているからです。

これからも皆様のニーズに応える新たな商品をご提供するとともに、資源の有効活用を推進し、より良い地球環境の創造に貢献してまいりたいと存じます。

今後とも皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆になりましたが、皆様方のますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

発泡スチロール協会（JEPSA）会長 青井郁夫